

# マイナンバー取得強制と 保険証廃止のねらいは？ ～デジタル改革は日本社会をどう変えるか

医療や介護現場の反対を押し切って、政府は健康保険証を廃止してまでマイナンバーカードを持たせようとしています。なぜでしょうか。

黒田さんは著書の中で、デジタル化された先進国である中国の例をあげて、学歴や職歴、資産、交友関係、買い物等の日常行動などの個人情報をもとにしたプロファイリングによって、監視社会がつくられていると指摘されています。デジタル化改革が日本社会をどう変えようとしているのか、一緒に考えたいと思います。

日時

2023年 **7月8日(土)** 午後2時～

会場

**プラザホープ2階多目的室** Web併用

和歌山市北出島1-5-47 TEL 073-425-3335

講師

くろ だ みつる

**黒田 充氏** (自治体情報政策研究所代表)

1958年大阪市生まれ。自治体情報政策研究所代表。一般社団法人 大阪自治体問題研究所理事。元大阪経済大学非常勤講師。

大阪府立大学工学部卒業後、松原市役所に就職。1997年に退職し、立命館大学大学院社会学研究科へ進学、修士号取得。

著作に、『地域・自治体運動のためのインターネット入門』（自治体研究社、2000年）、『「電子自治体」が暮らしと自治をこう変える』（自治体研究社、2002年）、『2011年、テレビが消える』（自治体研究社、2006年）、『Q&A共通番号 ここが問題』（自治体研究社、2011年）、『共通番号制度のカラクリ』（現代人文社、2012年、共著）、『マイナンバーはこんなに怖い！』（日本機関紙出版センター、2016年）、『あれからどうなった？マイナンバーとマイナンバーカード』（同、2020年）、『何が問題か マイナンバーカードで健康保険証廃止』（同、2023年）などがある。



**WEB参加希望者は事前にお申し込み下さい**

右のQRコードを読み込み、申込みフォームからお名前、メールアドレスをお送り下さい。  
後日視聴方法をメールにてお知らせ致します。

